

質地證文 質主直小代

覚

一金何百圓也

此質地何處何郡何村何内字  
何耕地何紙地券之通松者  
所持之他之質入不致並一

さし山

右耕地之何治何年何月分

来何年何月限質物之元

入書面之金子借用ノ不実

西元何年何月何年中松者

直小代いたし此年質諸

役お若勃一五ノ山名何年

初滴之到り何日米並元金

互齊亦お若一山ノ地券

福を教へしに之の山を  
初滴之より作る米並元  
互濟におお澤の山に地券  
名あり少智右地所お渡  
しへ之山尤重なるに到り何  
才よりし故障し出く者一  
切これなく片後日のたの  
從書し一公也

明治何年何月何日

質主 何某

證人 何某

何系殿

前書之通お遠おまじし旨

具印したし也

系國何郡何お長

何某